

協議会からのご意見を踏まえた  
地域づくりや利活用に関する方策案

# 第1回活用部会における主なご意見・ご提案（福島潟モデルPJ含めた全体）

## 1. 観光振興

- ①ターゲット層の明確化や、ターゲットの欲求についての調査が必要。⇒県観光協会よりご報告
- ②阿寒摩周国立公園川湯ビジターセンターにつくられたカフェのように、景色を見ながら温かいお茶を楽しめる場所は、地域の人から遠方の観光客まで、地域の魅力を伝える上で有効。  
⇒資料4
- ③ラムサール条約湿地自治体認証の活用はインバウンドに対しても重要。⇒資料5
- ④アウトドアメーカーとの連携も検討してほしい。⇒次回以降検討

## 2. 環境学習

- ⑤中学校等における総合的な学習の時間における今後の連携案：  
「小・中・高校の総合的な学習の時間でフィールドワーク」「環境分野に関心のある生徒が集いゼミのように学び合える場づくり」「地域貢献プロジェクトの環境分野チームの伴走」  
⇒次回以降検討

## 3. 他地域との連携

- ⑥他の生態系ネットワークとも連携し、県や地方をまたいだネットワークの構築や海外との連携など、生物に限らず様々な分野でのネットワークの拡大を進められると良い。  
⇒次回以降検討

# 1. ウェブサイトの公開状況

前回からの進捗状況

- ・北陸地方整備局のホームページにおいて、全体構想への意見募集も実施中。
- ・下記のホームページは2023年3月中旬より公開開始予定。
- ・今後、ホームページのサーバー管理者からサイト別、時間別、曜日別等のデータを収集し、アクセス解析を行い、藤田委員に考察していただく予定である。



## 2. 案内情報のデジタル化

- ・ 越後平野生態系ネットワークに係る資源等（観察ポイント等）や標柱番号について、グーグルマイマップ等（1-3のウェブサイト内に挿入済み）と連動させるとともに、標柱やサインにQRコードを印刷する
- ・ 設置にあたっては環境省、新潟県、新潟市、新発田市と協議を行い、作成及び設置作業はビュー福島潟を予定。

